



警察危機管理防災委員会で発言する



墜落したあらかわ1

ご家族の無念はいかばかりだろう。転落し救助要請した女性を救うために、当時雷雨が襲うなか彼らは出動した。命を救う仕事を我が身を顧みず果敢と行い、瞬時に天に帰った。

平成22年9月1日、県防災ヘリコプター墜落事故殉職者合同葬に参列した。埼玉県秩父市大滝どう沢で、県の防災ヘリコプター「あらかわ1」が、山岳遭難者の救活動中に墜落した事故が起きたのは同年7月25日。殉職されたのは、県防災航空隊員の中込良昌さん(42)、同じく戸張憲一さん(32)、秩父消防本部隊員の大沢敦さん(33)、運航を委託されていた本田航空機長の松本草さん(54)、同副操縦士の西川真一さん(32)の5名。職場や家庭で信頼をされていた立派な5人だったはずなのに。



約1500人が参列した

敬意を示す弔辞を述べた。二度とこのような悲惨な事故は起こしてはならない。「山岳救助活動ガイドライン」を早く作成するべきだろう。理念引き継ぐ後継機も一刻も早く用意しなければならぬ。会場内で「パーどこにいるのー」の幼子の声が響いたが、殉職者の志と遺族の思いに報いてさしあげたい。県は「命を守る」施策を様々な所で行っている。改めて肝に命じ、県議として私力を尽くしたい。

●ご意見・ご要望などお寄せください●

あさのめページにお越しください ブログほぼ毎日更新

http://www.asanome.com

mail: info@asanome.com TEL:048-883-6560

埼玉県議会 民主党・無所属の会 さいたま市浦和区支部 〒330-0043 さいたま市浦和区大東1-11-1-501

# 命誇緑

## 埼玉県議会活動報告

# 感動県政あさのめ新聞

発行・連絡先 埼玉県議会 民主党・無所属の会 さいたま市浦和区支部

10.12.07

Vol.016

ご支援ありがとうございます!

2007年4月 → 2011年3月  
県議としての任期ももう少しで終わろうとしています。

カー一杯動かさせていただきました!



「おはようございます! 県政報告」

春夏秋冬

年に一度。大規模な「県政報告会」



2007年



2008年



2010年



2009年

▲県議会での活動をキチンと報告させて頂きました。

### 浅野目 義英 ◆プロフィール◆

- ◆昭和33年5月27日東京生。
- ◆山形県米沢市育ち。◆4歳の時埼玉県へ。
- ◆法政大学社会学部卒。◆小学校教師を経る。
- ◆隣接の上尾市で全国最年少の25歳で市議初当選。
- ◆市議4期(25~41歳)。◆37歳で全国最年少議長。
- ◆上尾市長選挙次点敗退。
- ◆その後予備校講師、武正衆議院議員政策秘書など、政治浪人7年余を経て、埼玉県議会議員当選。



来年挑戦予定の(市議・浦和区)小柳さんと

民主党・無所属の会 浦和区支部(あさのめ事務所) 〒330-0043 さいたま市浦和区大東1-11-1-501  
TEL 048-883-6560 FAX 048-881-0527 e-mail info@asanome.com  
**www.asanome.com**

# 福祉教育

## 光を失った教師 再び現場にたたせよ



「人にとり光を失うということ」は筆舌に尽くれない苦難。私は青年会議所時代、アイマスクをつけ駅階段で昇降歩行体験をしたことがある。「こんなに苦勞をされているのか」と目が不自由な人の立場を初めて実感した。暗闇の中の不安と恐怖は強烈な印象として心に刻まれている。

しかし、逆境をはね返し不屈に挑戦を繰り返して、全盲のピアニスト、全盲のテノール歌手、全盲の弁護士、全盲のマラソンランナーなどの方々が様々な活躍されていることは議員各位も執行部各位もご存じのはず。

全国視聴覚障害者教師の会によれば全国で教壇に立つ視聴覚障害の先生は約60人。とか

「盲学校での勤務になりがち。普通校での門戸を広げられないか。知事はよく「誰でもチャンスがある社会がよい社会」と述べている。福岡出身だから知事はダメ。女性だから副知事はダメとは私は聞かない。すべての人にチャンスがあるということ。運命のいたずらで光を失った県立盲学校勤務の先生がいる。彼はもともと中学校教師。サッカー部の顧問でグラウンドで生徒と一緒に走り回る活発な、そして生徒から大変人気のある、また熱心に生徒と夢と希望を語る国語の先生だった。

両眼とも網膜剥離で右目視力0、左目は光を感じるだけ。だが普通校で再び教壇に立ちたいとの希望を持っている。「目が見えなくなったら盲学校で」とか「いくら望んでも普通校では環境が整わないから働けない」とか「通勤に片道2時間半、5時間半かかる」と知らない」という県教育委員会の姿勢には納得できない。

埼玉県の偉業を顕彰している埼玉県が理念を守り抜くためにも、全盲となった教師が普通校の現場で再び教壇に立つことだが、知事の深い理解と強い指導力を求めたい。

「知事答弁」教育委員会にお願いするとかやこしいことを受けないという文化もゼロではない。すぐに対応したい。面倒くさがらず、多くの人たちにチャンスを与えられるようなこと、真剣に教育委員会に取り組んで欲しい。

埼玉県の偉業を顕彰している埼玉県が理念を守り抜くためにも、全盲となった教師が普通校の現場で再び教壇に立つことだが、知事の深い理解と強い指導力を求めたい。

「知事答弁には感動があった。感動こそが政治に必要」と再質問であさのめさんが言っていた。素晴らしいと思いましたが。新井先生に教えられた子たちは、差別を拒む心を持つと思います。目が見えないからこそ教えられることがあると思います。

星野さん



長瀬中で「復帰」したこの先生の歩みは本にもなり感動を呼んだ

# 地方財政

## 海外資本家や外資の県債購入 格付取得で応えよ

「安定的な資金調達のため、県に、県債の信用格付取得は、県にとり標準装備となるはず」とあさのめさんが訴えているのは、とても納得できました。

なぜそのことを今までスピード感も展開できなかったのか疑問です。これからは埼玉の人気にもつながっていくのではないのでしょうか。

「安定的な資金調達のため、県に、県債の信用格付取得は、県にとり標準装備となるはず」とあさのめさんが訴えているのは、とても納得できました。

なぜそのことを今までスピード感も展開できなかったのか疑問です。これからは埼玉の人気にもつながっていくのではないのでしょうか。

「安定的な資金調達のため、県に、県債の信用格付取得は、県にとり標準装備となるはず」とあさのめさんが訴えているのは、とても納得できました。

田中君

**実現!!**

県債格付取得へ  
投資家に健全性PR

民間機関での格付取得は、県にとり標準装備となるはず」とあさのめさんが訴えているのは、とても納得できました。

二人の若者( )に、あさのめの議会活動を外部評価していただきました。

二人の若者( )に、あさのめの議会活動を外部評価していただきました。

二人の若者( )に、あさのめの議会活動を外部評価していただきました。

# 防災

## 埼玉県庁 地震防災の指揮所としての機能 早急に固めよ!



田中君

「埼玉県は災害が少なく安全」とよく語られる。しかし、科学的データも根拠もなく聞いたことがない。

県庁所在地で、今後30年以内に地震6以上の地震が起きる可能性は第3位だ。県ホームページに災害情報のパネルがなかった。県庁自体が一気に立ち返るBCPもなかった。全て改めるよう直言し実現させた。

命を守る。気迫をこれから県に求め続けていきたい。

「防災・震災情報のパネル」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件のHPに、いったん危機となれば、安全情報を求める膨大なアクセスが殺到するはず。パネルを貼り県民に防災情報の門戸広げるとき。

「今更だに、多くの都道府県に見られる「防災・震災情報のパネル」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件のHPに、いったん危機となれば、安全情報を求める膨大なアクセスが殺到するはず。パネルを貼り県民に防災情報の門戸広げるとき。」

「今更だに、多くの都道府県に見られる「防災・震災情報のパネル」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件のHPに、いったん危機となれば、安全情報を求める膨大なアクセスが殺到するはず。パネルを貼り県民に防災情報の門戸広げるとき。」

「今更だに、多くの都道府県に見られる「防災・震災情報のパネル」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件のHPに、いったん危機となれば、安全情報を求める膨大なアクセスが殺到するはず。パネルを貼り県民に防災情報の門戸広げるとき。」

**実現!!**

県防災センター建設へ  
県庁所在地の防災機能を強化

「今更だに、多くの都道府県に見られる「防災・震災情報のパネル」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件のHPに、いったん危機となれば、安全情報を求める膨大なアクセスが殺到するはず。パネルを貼り県民に防災情報の門戸広げるとき。」

# 埼玉県は本当に安全か? 単なる幻想、意識改革必要。

「埼玉県は災害が少なく安全」とよく語られる。しかし、科学的データも根拠もなく聞いたことがない。

県庁所在地で、今後30年以内に地震6以上の地震が起きる可能性は第3位だ。県ホームページに災害情報のパネルがなかった。県庁自体が一気に立ち返るBCPもなかった。全て改めるよう直言し実現させた。

命を守る。気迫をこれから県に求め続けていきたい。

「今更だに、多くの都道府県に見られる「防災・震災情報のパネル」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件のHPに、いったん危機となれば、安全情報を求める膨大なアクセスが殺到するはず。パネルを貼り県民に防災情報の門戸広げるとき。」

「今更だに、多くの都道府県に見られる「防災・震災情報のパネル」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件のHPに、いったん危機となれば、安全情報を求める膨大なアクセスが殺到するはず。パネルを貼り県民に防災情報の門戸広げるとき。」

「今更だに、多くの都道府県に見られる「防災・震災情報のパネル」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件のHPに、いったん危機となれば、安全情報を求める膨大なアクセスが殺到するはず。パネルを貼り県民に防災情報の門戸広げるとき。」

「今更だに、多くの都道府県に見られる「防災・震災情報のパネル」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件のHPに、いったん危機となれば、安全情報を求める膨大なアクセスが殺到するはず。パネルを貼り県民に防災情報の門戸広げるとき。」

**実現!!**

防災センター 平成23年3月、浦和区に完成する。

「今更だに、多くの都道府県に見られる「防災・震災情報のパネル」貼られていない。普段でも一日平均約1万6千件のHPに、いったん危機となれば、安全情報を求める膨大なアクセスが殺到するはず。パネルを貼り県民に防災情報の門戸広げるとき。」